

# 関係資料

- ①令和7年度 日田市地域内フィーダー系統確保維持  
計画・・・P1～7
  
- ②過去5年間（R3～R7）の日田市フィーダー系統バ  
ス路線 利用者数実績・・・P8

## (名称) 日田市地域公共交通確保維持協議会

## 1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

日田市では、JR九州の日田駅及び日田バスの日田バスターミナルが市外及び市内周辺部からの公共交通機関利用者の受入れ施設となっているが、市内中心部及び近郊の病院や商業施設に向かう公共交通機関が機能しておらず、タクシー又は徒歩で目的地へ行く市民が多かった。さらに市街地や近郊の住民も高齢化のために、徒歩や自転車での外出が困難となり、自動車の運転も危険が伴うとされてきた。

そのため、市内の病院や商業施設への移動を目的とする高齢者が利用しやすいバスが必要であり、今後その需要は年を追うごとに高まることが明らかであることから、小型の低床バスにより、市内の主要施設に行くことができる「市内循環バス（ひたはしり号）」を運行している。

加えて、市内循環バス（ひたはしり号）の運行区域外を運行し、市内中心部と山間部を結ぶ「五馬線」についても、地域住民にとって必要不可欠な路線として運行している。

このため、引き続き、地域公共交通確保維持事業により、「市内循環バス（ひたはしり号）」及び「五馬線」を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

令和7年度における日田市のフィーダー系統路線

- (1) 「市内循環バス（ひたはしり号）」 Aコース（右回り・左回り）日田～玉川町～日隈～石井～日田  
（右・左ともに13.0km）
- (2) 「市内循環バス（ひたはしり号）」 Bコース（右回り・左回り）日田～田島町～若宮～隈町旅館街～高瀬～日田  
（右・左ともに13.0km）
- (3) 「市内循環バス（ひたはしり号）」 Cコース（右回り・左回り）日田～豆田町～日田（右・左ともに15.5km）
- (4) 日田バス五馬線 日田～小迫～五馬入口 26.1km

## 2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

### (1) 事業の目標

色付き網掛け部分が地域内フィーダー系統路線

	基準値 (R4)	目標値				
		R5 (現況値)	R6	R7	R8	R9 最終目標
ひたはしり号の年間利用者数	71,783	79,443	74,670	76,113	77,556	79,000
Aコース	18,976	23,299	19,739	20,121	20,502	20,884
Bコース	23,464	23,135	24,408	24,879	25,351	25,823
Cコース	29,343	33,009	30,523	31,113	31,703	32,293
路線バスの年間利用者数	59,876	59,006	61,926	62,950	63,975	65,000
五馬線	4,323	3,814	4,471	4,545	4,619	4,693
(以下参考)	—	—	—	—	—	—
杖立線(日田～杖立)	8,956	10,171	9,262	9,416	9,569	9,722
杖立線(日田～大山振興局)	302	519	312	318	323	328
小鹿田線(日田～皿山)	5,320	5,136	5,502	5,593	5,684	5,775
小鹿田線(下藤山～皿山)	2,161	1,714	2,235	2,272	2,309	2,346
天瀬森町線	2,427	2,341	2,510	2,552	2,593	2,635
高塚森町線	10,207	10,185	10,557	10,731	10,906	11,081
高塚線(※1/1～3のみ)	39	32	40	41	41	42
神杉野線(杷木発)	3,734	4,547	3,862	3,926	3,990	4,054
神杉野線(浮羽発)	390	492	403	410	416	423
中日線	22,017	20,055	22,771	23,147	23,524	23,901

#### 【目標値算出根拠】

日田市地域公共交通計画において、下記の目標値を設定している。

- ・市内循環バスひたはしり号の年間利用者数(人/年以上) 79,000人/年以上(R9)
- ・路線バスの年間利用者数(人/年以上) 65,000人/年以上(R9)

この目標値は、人口減少や新しい生活様式の普及等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により落ち込んだ利用者数の基準値(R4)から、1割増しを目指すこととして設定した。

令和9年度の目標値を現況値の約10%増しと設定し、計画期間をR5～R9の5年間としているため、各年度では、毎年約2%ずつの上昇が必要となる。

そのため、地域内フィーダー系統路線における各年度の目標値は上表のとおりである。

- 令和5年度目標値 R4年度比の約102%
- 令和6年度目標値 R4年度比の約104%
- 令和7年度目標値 R4年度比の約106%
- 令和8年度目標値 R4年度比の約108%
- 令和9年度目標値 R4年度比の約110%

(日田市地域公共交通計画 P.60,61 参照)

## (2) 事業の効果

### ・市内循環バス（ひたはしり号）

低床バスを使い市内循環バス（ひたはしり号）を運行することにより、市内中心部及び近郊の高齢者を中心とした交通弱者の交通手段を確保することができるとともに、周辺部住民の市街地への利用に対し、安価な交通手段を提供することができる。

さらに、病院、商業施設のほか老人福祉センター及びパトリア日田などの公共的な交流施設を結ぶことにより高齢者の外出機会の増加につながる。

### ・五馬線

市内中心部と山間部を結ぶ、地域住民にとって必要不可欠な路線であり、国の補助を受けることで、高齢者を中心とした交通弱者の交通手段を確保することができる。

## 3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

### ① 効率的・効果的な交通網の充実（日田市、日田バス株）

・市街地を運行するバスは、市街地の潜在的な需要が見込まれる地域への乗り入れを検討し、また、住居や公共施設等が集積したエリアなどに運行を限定するなど、効率的・効果的な移動環境を構築する。

### ② わかりやすい時刻表やマップの作成と情報提供（日田市、日田バス株）

・各公共交通機関の乗り継ぎ等をわかりやすくすることで利用促進を図るため、公共交通の路線図や時刻表等を記載した「公共交通マップ」の作成を検討する。  
・SNSの活用により、幅広い層に対し、効率的かつ効果的な情報発信を行うことを検討する。

### ③ 交通事業者・地域と連携した効果的な地域公共交通の運行・運営（日田市、日田バス株、市民、関係団体等）

・利用促進啓発チラシの配布や市の広報等を活用し、鉄道やバス等の地域公共交通の各種情報などを広く周知する。  
・医療機関や商業施設等と協力し合って、公共交通利用者を増やすための取組を行う。

### ④ 公共交通の利用促進に向けた啓発活動（日田市、日田バス株、市民）

・市民の意識が公共交通の積極的な利用につながるためのバスの乗り方教室などの啓発活動を行う。  
・車庫に待機している車両（空き車両等）を活用して、車両に乗るだけでも楽しい仕掛け・工夫を講じて、公共交通の新しい価値を官民連携して創造する。

（日田市地域公共交通計画 P.64～69 参照）

## 4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

表1を添付

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「表1」の運行系統・申請番号(1)～(6)について  地域公共交通確保維持事業によって運行の維持を図る「表1」の運行系統・申請番号(1)～(6)について、その運行に係る費用のうち、日田市から日田バス株式会社への委託料については、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。</li> <li>・「表1」の運行系統・申請番号(7)について  地域公共交通確保維持事業によって運行の維持を図る「表1」の運行系統・申請番号(7)について、その運行に係る費用のうち、日田市から日田バス株式会社への補助金額については、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。</li> </ul> <p>令和5年度実績（参考）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>費用の総額</td> <td>48,022,087円</td> </tr> <tr> <td>国庫補助額</td> <td>9,518,000円</td> </tr> <tr> <td>市負担額</td> <td>38,504,087円</td> </tr> </table>	費用の総額	48,022,087円	国庫補助額	9,518,000円	市負担額	38,504,087円
費用の総額	48,022,087円					
国庫補助額	9,518,000円					
市負担額	38,504,087円					
6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数については日田バス(株)が所有するデータにより数値を把握し、公共交通関係者や学識経験者、住民代表により構成される日田市地域公共交通確保維持協議会において毎年評価を実施。  （日田市地域公共交通計画 P72 参照）</li> </ul>						
7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 <b>【地域間幹線系統のみ】</b>						
※該当なし						
8. 別表1の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 <b>【地域間幹線系統のみ】</b>						
※該当なし						
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 <b>【地域間幹線系統のみ】</b>						
※該当なし						

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 <b>【地域内フィーダー系統のみ】</b>
表5を添付。
11. 車両の取得に係る目的・必要性 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
※該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
※該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） <b>【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
※該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

- ・令和6年6月21日（令和6年度第2回） ・令和7年度フィーダー補助金の計画について協議・承認
- ・令和6年11月28日 書面開催（令和6年度第3回） 令和7年度フィーダー補助金の計画変更について協議・承認
- ・令和7年2月19日（令和6年度第5回） ・令和7年度フィーダー補助金の計画変更について協議・承認

19. 利用者等の意見の反映状況

- ・市のホームページにて本計画に関する意見を募集した。
- ・公共交通の利用者（特に高頻度利用者）を参集した地域座談会を開催し、地域自らが主体となって移動手段の確保や公共交通利用環境の改善などを実施し、それらを交通事業者と行政がサポートする体制を作る。（日田市地域公共交通計画 P69 参照）
- ・本計画の成果指標に市民アンケートにより把握する数値を設定している。
- ・協議会には住民代表の委員が2名入っている。

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）大分県日田市田島2丁目6番1号

（所 属）日田市地域振興部地域振興課

（氏 名）進 和宏

（電 話）0973-22-8356

（e-mail）susumu.kazuhiro10@city.hita.lg.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

令和7年度

市区町村名	運送予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画運 行日数	計画 運行 回数	利便 増進 特例 措置	運送 継続 特例 措置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地	終点						運行態様の別	基準ハで 該当する 要件(別 表7・9)	補助対象地域間幹線系統 等と接続の確保	基準ホで該当 する要件 (別表7のみ)
日田市	日田バス(株)	(1) 市内循環バス(ひたはしり号)Aコース(左回り)循環線	日田バスターミナル	玉川町・日隈・石井	日田バスターミナル	循環 13.km	364日	1,820.0回			路線定期	②(1)	JR九州の久大本線日田駅と日田バスターミナル(停留所)にて接続	③
	日田バス(株)	(2) 市内循環バス(ひたはしり号)Aコース(右回り)循環線	日田バスターミナル	玉川町・日隈・石井	日田バスターミナル	循環 13.km	364日	1,820.0回			路線定期	②(1)	JR九州の久大本線日田駅と日田バスターミナル(停留所)にて接続	③
	日田バス(株)	(3) 市内循環バス(ひたはしり号)Bコース(左回り)循環線	日田バスターミナル	田島町・若宮・隈町旅館街・高瀬	日田バスターミナル	循環 13.km	364日	1,820.0回			路線定期	②(1)	JR九州の久大本線日田駅と日田バスターミナル(停留所)にて接続	③
	日田バス(株)	(4) 市内循環バス(ひたはしり号)Bコース(右回り)循環線	日田バスターミナル	田島町・若宮・隈町旅館街・高瀬	日田バスターミナル	循環 13.km	364日	1,820.0回			路線定期	②(1)	JR九州の久大本線日田駅と日田バスターミナル(停留所)にて接続	③
	日田バス(株)	(5) 市内循環バス(ひたはしり号)Cコース(左回り)循環線	日田バスターミナル	豆田町・朝日町・清岸寺町・城町	日田バスターミナル	循環 15.5km	364日	1,456.0回			路線定期	②(1)	JR九州の久大本線日田駅と日田バスターミナル(停留所)にて接続	③
	日田バス(株)	(6) 市内循環バス(ひたはしり号)Cコース(右回り)循環線	日田バスターミナル	豆田町・朝日町・清岸寺町・城町	日田バスターミナル	循環 15.5km	364日	1,820.0回			路線定期	②(1)	JR九州の久大本線日田駅と日田バスターミナル(停留所)にて接続	③
	日田バス(株)	(7) 五馬線	日田バスターミナル	小迫	五馬入口	往復 26.1km 26.1km	292日	643.0回			路線定期	②(1)	JR九州の久大本線日田駅と日田バスターミナル(停留所)にて接続	③
						.km								
						.km								
						.km								

(注)

1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載すること。
5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。



## 資料②

## 過去5年間(R3～R7)の日田市フィーダー系統バス路線 利用者数実績

運行系統		令和3年度 (R2.10.1～R3.9.30)	令和4年度 (R3.10.1～R4.9.30)	令和5年度 (R4.10.1～R5.9.30)	令和6年度 (R5.10.1～R6.9.30)	令和7年度 (R6.10.1～R7.9.30)	備考
コミュニティバス利用者数	市内循環バスAコース(右回り)	8,526	8,149	23,299	26,241	26,967	R5.2.13再編
	市内循環バスAコース(左回り)						
	市内循環バスBコース(右回り)	14,652	13,013	23,135	25,641	25,750	R5.2.13再編
	市内循環バスBコース(左回り)						
	市内循環バスCコース(右回り)	22,135	19,805	33,009	32,307	32,685	R5.2.13再編
	市内循環バスCコース(左回り)						
	市内循環バスDコース(右回り)	25,762	27,502	-	-	-	R5.2.13再編
	市内循環バスDコース(左回り)						
	ひたはしり号計	71,075	68,469	79,443	84,189	85,402	
	夜明循環線	565	-	-	-	-	R2.5.1系統廃止
	杷木循環線	660	-	-	-	-	R2.5.1系統廃止
杷木線	-	-	-	-	-	H31.4.1系統廃止	
コミュニティバス計	72,300	68,469	79,443	84,189	85,402		
路線バス利用者数	五馬線	4,682	4,422	3,814	3,135	2,570	
	大野線	1,818	-	-	-	-	R2.5.1系統廃止
	出野線	466	-	-	-	-	R2.5.1系統廃止
	路線バス計	6,966	4,422	3,814	3,135	2,570	
合計		79,266	72,891	83,257	87,324	87,972	